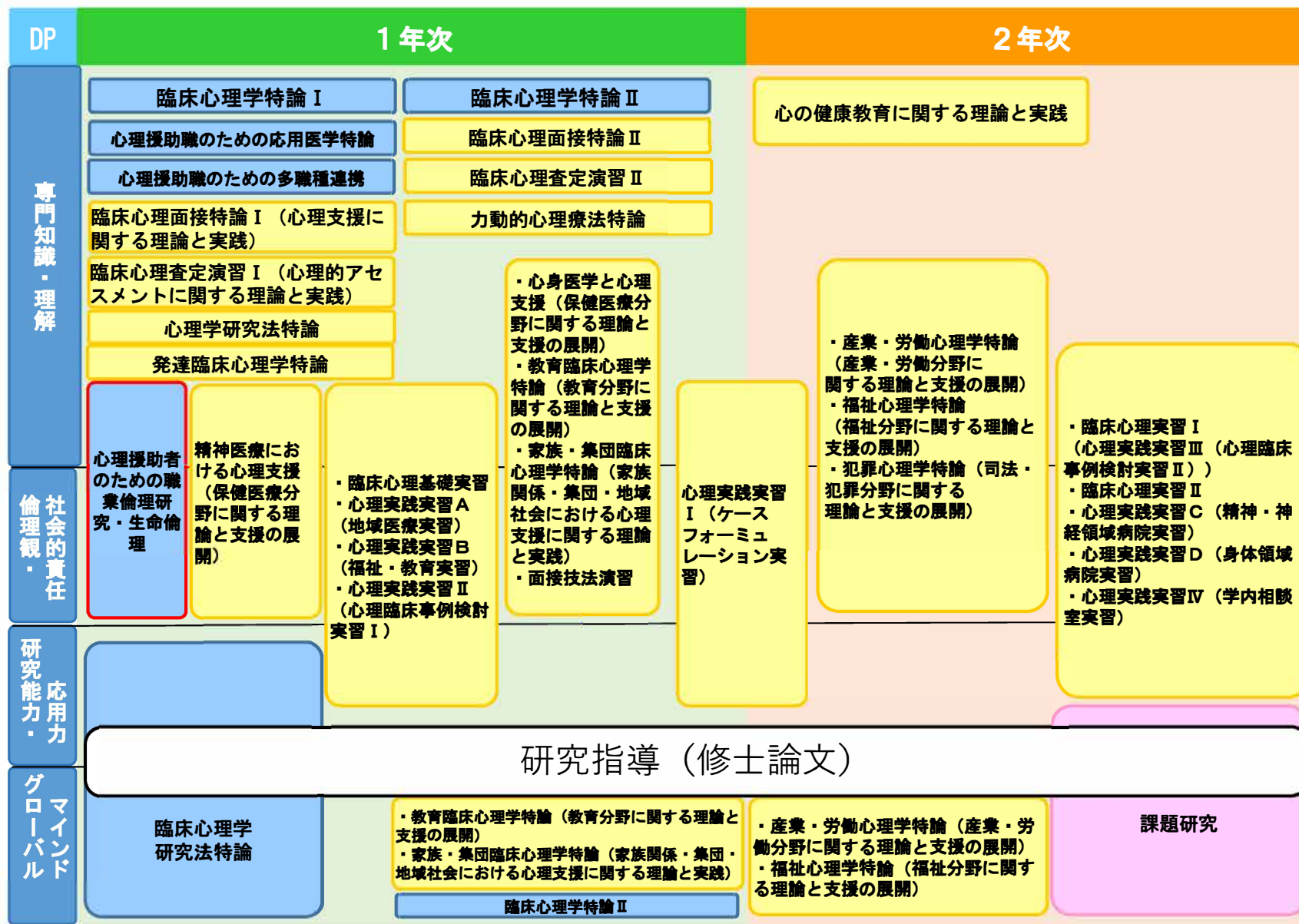


臨床心理学専攻カリキュラムマップ



大学院授業科目
 基礎科目
 専門科目
 研究科目

ディプロマ・ポリシーの各項目の達成は、以下に示す体系的教育をもって実現します。

<臨床心理学専攻>

①専門知識・理解

1、2年次に配置された基礎科目により、臨床心理学の理論を学習し、またその支援方法に関する専門知識を理解・修得します。さらに、臨床科学に関する知見を深めます。引き続き開講する各特論により、心理援助者として活躍するための幅広い専門の知識を身につけます。

②研究能力・応用力

1年次通年の基礎科目「臨床心理学研究法特論」により専門的研究実施の基礎的能力を修得します。具体的には、関連する学問分野の論文を読む能力と研究を遂行するために必要な基本的知識を学びます。その後、自己の関心のあるテーマについて探求し、心理学の問題を解決するための方法を科学的根拠に基づいて導き出せる能力を修得します。さらに、2年次通年の「課題研究」では修得した研究手法を用いて適切に研究を実施し、データ分析や論文を作成する方法を身につけます。

③倫理観・社会的責任

1年次通年の基礎科目「心理援助者のための職業倫理と研究・生命倫理」において、研究倫理、安全教育、情報リテラシー、知財などの研究遂行に関わる倫理と、心理援助者として必要な職業倫理及び倫理的思決定について系統的知識を身につけます。さらに、主要5分野に関する理論と支援の展開の授業で、心理援助者としての法的責任や社会的責任を自覚し、臨床実践の質向上に貢献できる能力を培います。

④グローバルマインド

1年次後期の「教育臨床心理学特論」、「家族・集団臨床心理学特論」、「臨床心理学特論Ⅱ」
2年次前期の「産業・労働心理学特論」、「福祉心理学特論」において、多様性を尊重した心理支援を行うための態度と知識を身につけます。また、「臨床心理学研究法特論」及び「課題研究」の中で、英語文献を講読し、国際的な視野で臨床心理学的研究の現状を理解し、研究を遂行する能力を培います。